

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：令和３年度)

施 設 名	加古川市営駐車場
指定管理者	株式会社パーキングサポートセンター
指 定 期 間	令和２年４月１日から令和７年３月３１日まで
施設所管課	総務部 管財課

１ 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者台数	306, 188	240, 594	市民会館や近隣施設でのイベント再開や新型コロナワクチン接種のため、総出庫台数が 65, 594 台の増加。うち用務来庁者数は 57, 249 件、一般来庁者数は 8, 345 件増加となった。

２ 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	25, 116, 753	24, 575, 545	
（うち指定管理料）	25, 116, 753	24, 575, 545	指定管理者の提案による
（うち利用料金）		—	
（うちその他）		—	
支出金額（円）	25, 116, 753	24, 575, 545	

３ 自己評価

自己評価コメント	指定管理２年目。対応や処理方法を理解し対応できました。監査で気付いていなかった事をご指摘いただきましたので、指摘事項に対応致しました。既存のルールに従って対応できております。今後は、弊社の駐車場管理に関するノウハウをさらに生かし、防犯面や改善提案についても積極的に実施して参ります。
----------	---

4 施設所管課評価

運営（サービス） に対する評価	定期監査において第三者への委託業務（植木管理業務）について指摘を受けたものの、運営についてはおおむね事業計画どおりなされており、良好といえる。
利用状況に対する 評価	新型コロナワクチン接種、イベント再開等の影響により利用者が前年度より増加したが、イベントを事前に把握して開場時間の変更を行うなど利用者の利便性の向上、安全性の確保に努めており、良好といえる。
自主（指定）事業 に対する評価	実施する事業なし
施設維持に対する 評価	手すりの錆落としや駐車場内の矢印、ラインの塗装を行うなど年間を通して適宜清掃や修繕を行うなど良好な維持管理ができているといえる。
収支状況に対する 評価	指定管理料の範囲内で支出がまかなえており問題はない。
総合評価	従業員への研修や駐車場内の定期的な調査を行い、良好な状態が保たれており、おおむね良好な管理運営ができているといえる。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：令和３年度)

施設名	加古川市斎場
指定管理者	株式会社 五輪
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日まで
施設所管課	市民協働部 市民課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
人体受付件数（件）	2,848	2,614	コロナ感染者火葬、高齢化社会のため増加したと思われます。
小動物受付件数（件）	1,715	1,703	微増ですが依然ペット人気は高く今後も増加すると思われます。

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	91,149,348	92,207,346	
（うち指定管理料）	90,278,000	90,271,000	人件費、委託費の増額のため
（うち利用料金）	871,200	871,200	
（うちその他）	148	1,065,146	預金利息（前年度は感染症対策委託費含む）
支出金額（円）	88,934,230	85,025,193	計画通り
燃料費、光熱費、修繕費、備品費の精算金額（市への返金金額）	2,486,162	5,810,762	

3 自己評価

自己評価コメント	職員の一人ひとりが火葬技術の研鑽に励むとともに接遇研修を積み重ねたことで人員配置を見直すことなく増加した受付件数に対応できました。 今後増えると思われる家族葬などの少人数の遺族や、高齢の利用者等へきめの細かいサービスを提供できるよう努力してまいります。
----------	--

4 施設所管課評価

運営（サービス） に対する評価	・コロナ感染者の火葬対応や、細やかな配慮により利用者に寄り添った運営ができています。 ・葬祭業者及び霊柩車の運行事業者と連絡調整を行うことで、配車漏れを防止し、安定した火葬業務が実施できている。
利用状況に対する 評価	・火葬件数は、年々増加し、今後も超高齢社会の影響等により、増加していくと想定している。施設が老朽化している中で、安定的な火葬が提供できるように、火葬炉の保守点検や火葬の運営体制が効率的に実施できている。
自主（指定）事業 に対する評価	・喫茶、売店、自動販売機の委託を実施している。利用者のニーズを掌握し、軽食メニューの充実を図る等、利用者の満足につながるようお願いしたい。
施設維持に対する 評価	・修繕は優先順位をつけ、計画的に実施されている。 ・利用者のニーズを考慮しながら環境の整備を行っている。
収支状況に対する 評価	・効率的な火葬運営を実施し、経費削減に努めているが、超高齢社会を迎え、今後も火葬件数の増加が見込まれるため、より効率的な火葬業務の運営への研鑽をお願いしたい。
総合評価	・施設の老朽化が進んでいる中で、施設の管理、設備のメンテナンス等十分実施されており、利用者に寄り添った、きめ細やかな対応等も評価している。 ・利用者からの声については、月に1回のアンケート報告とともに、必要なものについては、随時報告がされている。

指定管理業務の評価結果について

（評価対象年度：令和３年度）

施 設 名	加古川市民会館
指定管理者	株式会社ケイミックスパブリックビジネス
指 定期 間	平成 31 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日まで
施設所管課	市民協働部 スポーツ・文化課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数（人）	49,089	48,264	前年度のように比較的長期の休館ではなかったが、新型コロナウイルス感染症対策による人数制限・活動自粛があり利用者数は伸びなかった。また、第 3 四半期以外はほぼ小ホール・第 1 ～第 3 会議室・多目的室はワクチン集団接種会場になったことも利用者数が伸びなかった要因である。
施設稼働率（％）	31	25	今期は短期間の休館であったため、昨年度より稼働率は若干伸びた。 各四半期稼働率は次の通り。 第 1 四半期 25％ 第 2 四半期 37％ 第 3 四半期 32％ 第 4 四半期 29％

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	136,811,509	117,430,414	
（うち指定管理料）	96,325,018	91,028,524	
（うち特定修繕費）	0	800,000	
（うち利用料金）	15,424,049	12,270,957	
（うちその他）	25,062,442	13,330,933	ワクチン接種会場協力金
支出金額（円）	134,892,803	121,799,761	

3 自己評価

自己評価コメント	(会館施設利用) 新型コロナウイルス感染症拡大予防対策及びワクチン集団接種会場設置に伴って施設利用の予約取消し・利用料金の返金などの業務が増えた。また、人数制限や検温、消毒、距離を保つ、来場者リスト作成等のイレギュラー対応が続いたが、利用者に対して丁寧な対応に努め大きな問題はなく運営できた。 (会館実施事業) ～中止・延期事業～ 本年度は指定事業7本と、自主事業10本を実施した。 指定事業では「地域資源活用事業」を次年度に延期した。 自主事業「プレミアムコンサートⅢ」「エンタメステージⅡ」「ノンジャンル」が中止、「加古川シネマシリーズ」2本のうち1本中止 「地域連携プログラム アウトリーチ」は密を避けるという意味もあり、中止とすることとした。 ～実施事業～ コロナ禍の影響で指定事業「せせらぎコンサート」は8月に延期開催、「加古川市民大学講座」「華麗なる名作オペラハイライト」「情熱のタンゴダンス&コンサート」「桂米朝一門会」はいずれも参加者数が目標に届かなかったが、内容は素晴らしくお客様からは好評をいただいた。 自主事業「氷川きよしコンサート」は歌謡界のトップスターの登場だったが、昼公演はまずまずとしても夜公演はすっかり出控えが染みついたのか集客は伸びなかった。 「サンリオファミリーミュージカル」、映画「それいけ!アンパンマンふわふわフワリーと雲の国」についての集客は苦戦したものの、「どこにも連れていけなかったのでもいい思い出になった」という親御さんの意見があった。ただいくつかの事業は小ホールや会議室がワクチン集団接種会場に使用されている影響を受け、中止や延期などがあった。「地域連携プログラム アウトリーチ」も密を避ける意味から中止となったが、その他の事業は実施することができた。 市内及び近隣市町から参加者が集まる地域連携プログラム「加古川文化フェスティバル」では参加団体も昨年に引き続きコロナ禍により練習ができないことや、外出への不安から高齢者の参加辞退が相次いで非常に厳しい条件だったが、参加者からは「この状況の中で舞台に立てただけでもうれしい」という声が聞かれた。 「社会貢献プログラム ピアノのしくみを見てみよう」は初開催、市民会館が所有するピアノの中身が見られるとあって開催1か月の前に完売となる盛況ぶりだった。
----------	--

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	施設の運営や維持管理については、提案書、仕様書、事業計画書に基づき実施された。アンケートや提案箱の設置等により、利用者のニーズを受け業務改善、サービスの向上に努めている。
利用状況に対する評価	稼働率は前年度を上回ったものの、新型コロナウイルス感染症や、ワクチン集団接種会場開設による影響もあり、施設利用者数は目標値を下回った。今後の事業展開に期待したい。
自主（指定）事業に対する評価	新型コロナウイルス感染症や、ワクチン集団接種会場開設の影響がある中、「氷川きよしコンサートツアー2020～2021」「サンリオファミリーミュージカル」や、世界三大ピアノであるスタインウェイの演奏体験「大ホールひとりじめ」など、市民が楽しむ機会を提供した。また、若年層と中高年層のニーズに合った事業をバランスよく実施しており、文化発信の場として充実した事業を展開していると評価できる。今後も新たなニーズを掘り起こした新規事業について期待したい。
施設維持に対する評価	定期的な館内清掃、植栽、警備に係る各種定期点検及び維持管理がなされている。また、修繕料・備品購入費ともに必要分を執行しており、適切な維持管理がなされている。
収支状況に対する評価	収入のうち、指定管理料が全体の7割程度を占めている。利用料金収入は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり予定より落ち込んだ。支出については、必要な修繕・備品購入を行い、適切に執行できている。
総合評価	新型コロナウイルス感染症や、ワクチン集団接種会場開設による影響を受けながらも、その中で目新しい事業を行い、市民から好評であったことは評価できる。利用者数、利用料金収入について目標値を達成できるよう、利用者ニーズを把握しそれに対応したさらなる事業展開に期待したい。

指定管理業務の評価結果について

（評価対象年度：令和３年度）

施 設 名	加古川総合文化センター
指定管理者	株式会社ケイミックスパブリックビジネス
指 定期 間	平成 31 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日まで
施設所管課	市民協働部 スポーツ・文化課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数（人）	76,216	63,029	4/27～5/11 新型コロナウイルス感染症対策による休館、その後も 9 月末まで時短による運営、12/20～12/24 防災盤改修工事による休館。 その他定員等の利用制限により利用者数元に戻らず。
コミュニティ施設稼働率（％）	29.4	23.6	
美術ギャラリー稼働率（％）	0	16.0	美術ギャラリーが 5/1 から期末までワクチン集団接種会場となり、利用できなかった。

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	150,299,796	141,444,397	レストラン売上増
（うち指定管理料）	101,089,000	97,748,532	
（うち利用料金）	19,765,510	19,066,059	利用率徐々に回復
（うちその他）	29,445,286	24,629,806	ワクチン接種会場協力金等
支出金額（円）	137,144,956	133,656,975	レストラン委託費の増加

3 自己評価

自己評価コメント	ワクチン集団接種会場として美術ギャラリー全々とロビーの 3 分の 2 が使用できない中、工夫しながら指定事業を 36 件、自主事業を 12 件実施した。貸館については新型コロナウイルス感染症拡大防止や設備改修で休館があったが、チラシ等による PR 活動により新規利用者も増加している。ただ、一昨年の料金改定、昨年の新型コロナウイルス感染症により離れた顧客は戻っておらず、ワクチン集団接種会場により展示会を他施設に移られた方も含めて、当館回帰を訴えていく必要がある。
----------	--

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	施設の運営や維持管理については、提案書、仕様書、事業計画書に基づき実施された。アンケートや提案箱の設置等により、利用者のニーズを受け業務改善、サービスの向上に努めている。
利用状況に対する評価	利用者数や稼働率は、前年度を上回ったものの、新型コロナウイルス感染症や、ワクチン集団接種会場開設による影響もあり、目標値は下回った。今後の事業展開に期待したい。
自主（指定）事業に対する評価	新型コロナウイルス感染症や、ワクチン集団接種会場開設の影響がある中、「総文カルチャー」や、各種作品展等を行い、市民が楽しむ機会を提供した。施設の特色であるプラネタリウムを組み合わせた朗読など工夫をこらした事業を数多く行っていることは評価できる。今後も市民ニーズを把握した新規事業について期待したい。
施設維持に対する評価	定期的な館内清掃・植栽、警備に係る各種定期点検及び維持管理がなされている。また、修繕料・備品購入費ともに必要分を執行しており、適切な維持管理がなされている。
収支状況に対する評価	収入のうち、指定管理料が全体の3分の2程度を占めている。利用料金収入は、新型コロナウイルス感染症や、ワクチン集団接種会場開設の影響もあり予定より落ち込んだ。支出については、必要な修繕・備品購入を行い適切に執行できている。
総合評価	新型コロナウイルス感染症や、ワクチン集団接種会場開設による影響を受けながらも、その中で目新しい事業を行い、市民から好評であったことは評価できる。利用者数、利用料金収入等について目標値を達成できるよう、利用者ニーズを把握しそれに対応したさらなる事業展開に期待したい。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：令和３年度)

施設名	加古川市立松風ギャラリー
指定管理者	加古川市美術協会
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日まで
施設所管課	市民協働部 スポーツ・文化課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数（人）	12,232	8,490	新型コロナウイルス感染症による休館日が減少したため。
稼働率（％）	47	40	同上

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	21,283,507	21,772,227	
（うち指定管理料）	19,127,985	18,900,339	
（うち利用料金）	1,702,930	1,229,625	
（うちその他）	452,592	1,642,263	感染症対策委託費等の減
支出金額（円）	20,056,914	21,127,360	

3 自己評価

自己評価コメント	市民の心理状況や社会経済状況が一変するとは思われず、利用件数が前提の指定管理者制度が時宜を得ているのか再検討する時期にきているのではないかと。市民の利用減に対処すべく主催事業を増加させているが、マンパワーに限度があり、市の新規収蔵作品がない中では企画が立てにくくなっている。
----------	---

4 施設所管課評価

運営（サービス） に対する評価	地域の文化団体とのネットワークをもった指定管理者が地域に密着したサービスを提供した。特に市内で活躍する作家の美術展や音楽団体のコンサートを行うことにより、地元加古川の芸術文化の振興に寄与している。
利用状況に対する 評価	利用者数は前年度を上回ったものの目標値には達しなかった一方、稼働率は目標値に達した。新型コロナウイルス感染症の影響がまだ残っているものと思われるが、引き続き1階の展示室の貸館状況に応じて、可能な限り事業を組み入れたことは評価できる。
自主（指定）事業 に対する評価	自主事業として、指定管理者主催事業である美術協会部門別会員展を開催しており、指定管理者のノウハウとネットワークを生かした事業展開ができています。また、指定事業においては、多様な企画展を開催しており、チラシ等で利用者へ積極的に周知を行うなど、利用者数増加に向けて努力した点は評価できる。
施設維持に対する 評価	定期的な館内清掃・点検を実施。また、早期に必要な修繕を行うことにより、老朽化を最小限におさえる等、適切な維持管理ができています。
収支状況に対する 評価	貸館事業による利用料金収入があるが、指定管理料が主たる財源となる。定期的な館内清掃・点検の実施、自主事業の展開、また、必要な修繕・備品購入を行い、予算の範囲内での執行ができています。
総合評価	新型コロナウイルス感染症による影響をうけながらも、施設の管理運営や施設維持管理については、提案書、仕様書、事業計画書に基づき適正に遂行、節電等経費削減にも取り組んでいる。また、新規事業の実施、継続的なPRを行い、事業周知を図っている。市所蔵作品展を行うことにより、地元有缘のある芸術家の作品を広く市民に知ってもらい、市所蔵の芸術作品を有効活用することができ、施設を有効に利用できている。

指定管理業務の評価結果について

（評価対象年度：令和３年度）

施設名	加古川ウェルネスパーク
指定管理者	指定管理者西部共同企業体
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日まで
施設所管課	市民協働部 スポーツ・文化課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数（人）	406,214	343,207	新型コロナウイルス感染症による影響も残っているが、例年の70%程度まで回復してきている。
利用料金（円）	48,281,263	34,692,102	新型コロナウイルス感染症による影響も残っているが、例年の65%程度まで回復してきている。
図書貸出冊数（冊）	491,821	426,286	新型コロナウイルス感染症による影響と加古川図書館の移転に伴う一時休館の影響も残っているが例年の90%程度まで回復してきている。

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	408,010,905	387,071,611	
（うち指定管理料）	327,884,666	316,545,522	予算通りの運営ができた
（うち利用料金）	48,281,263	34,692,102	健康増進の臨時休館日数の減少に伴い増となった
（うちその他）	31,844,976	35,833,987	感染症対策委託費等の減
支出金額（円）	426,563,856	419,560,849	光熱水費の増加

3 自己評価

自己評価コメント	コロナ禍の中で、時短営業や人数制限を設けることで、何とか年間の行事イベントも開催できるものについては無事開催することが出来た。また、図書館では、昨年度に続き会場変更及び定員を減らし、消毒等の新型コロナウイルス感染症対策を行ったうえで事業を実施した。乳幼児向けの「もくもくのもり」は参加希望が多いことから、できるだけ多くの方にご参加していただけるように状況に応じて複数回実施した。
----------	--

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	複合施設の特長を十分に生かした運営ができている。利用者の声を積極的に取り入れ、また、地元団体や利用者と協力した自主事業の展開をするなど、評価できる事業展開を行っている。
利用状況に対する評価	新型コロナウイルス感染症による影響の緩和もあり、利用者数や利用料金等は昨年度比で増加している。健康増進施設については、前年度より引き続きプログラムの充実を行った結果、利用目標には届かなかったが、増加傾向がみられる。図書館については、加古川図書館リニューアルの影響もあり貸し出し冊数・来館者数ともに目標値に達していない。引き続き図書館事業等に力を入れ、来館者数等の増加に努められたい。
自主（指定）事業に対する評価	指定事業については、健康増進施設で様々な世代、レベルの人向けのクラスで事業を実施し、市民ニーズに応えていることは評価できる。自主事業においては、新たな事業や利用者と協力して行う OPEN DEPARTMENT 等も実施し、好評を博していることは評価できる。
施設維持に対する評価	定期的な館内清掃・植栽、警備に係る各種定期点検及び維持管理がなされている。また、修繕費・備品購入費ともに必要分を執行しており、適切な維持管理がなされている。ESCO 事業においては、前年度に引き続き ESCO 事業者との協力により、適切な設備運転により光熱水費の削減をすることができた。
収支状況に対する評価	収入全体としては、健康増進施設利用及び貸館による利用料金収入が1割強で、指定管理料が主な収入源となっている。支出については、定期的な館内清掃・点検の実施、自主事業の展開、また、必要な修繕・備品購入を行い、概ね計画どおりの執行ができている。
総合評価	新型コロナウイルス感染症による影響をうけながらも、基本協定書、事業計画書に基づき管理運営等について良好に遂行している。多種多様な自主事業に取り組み新たな事業を行い、複合施設の特長を十分に発揮し、地域コミュニティの中心となっていると評価できる。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：令和３年度)

施設名	加古川市立漕艇センター
指定管理者	指定管理者西部共同企業体
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日まで
施設所管課	市民協働部 スポーツ・文化課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数（人）	10,854	12,748	日本カヌー連盟強化合宿利用人数減による
利用料金（円）	2,052,960	3,262,560	日本カヌー連盟強化合宿利用人数減による宿泊料金収入減

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	39,393,000	42,545,330	
（うち指定管理料）	36,422,427	36,584,973	
（うち利用料金）	2,052,960	3,262,560	宿泊利用減による
（うちその他）	917,613	2,697,797	感染症対策委託費等の減
支出金額（円）	36,476,015	44,535,169	委託費減による

3 自己評価

自己評価コメント	令和３年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で大会がほぼ中止になったが、近隣小中学校（山手中・上荘小・別府小・八幡小・両荘中・三木小・青少年育成課の6小中学校と1団体及び、神戸製鋼高砂・神鋼物流・川崎重工播磨工場・川崎重工神戸工場の4企業）からボート体験の依頼があり、合計451名を受け入れた。エルゴマシンレースやアルティメット、陸上でオールの使い方が分かるように疑似体験ができるシミュレーターなどを使い、少しでも楽しんでいただけるように工夫を凝らした事業を行った。 また、11月に「Head Of The Kakogawa 2021」を開催した。加古川水域では2回目となるロングレースで昨年よりも距離を伸ばし参加者からは大変好評を得た大会となった。
----------	--

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	新型コロナウイルス感染症に対する安全研修を実施するなど、より安全な施設管理や、不具合への素早い対応ができています。また、利用者の安全を最優先に考え、安全監視体制の徹底や艇保守業務の確実な実施等を行っていることは評価できる。
利用状況に対する評価	利用者数は、全国的に各種大会が中止になるなど、新型コロナウイルス感染症の影響もあり前年度比で減少した。利用料金収入については、会議室及び艇庫利用料は目標値を上回ったが、貸艇利用料に関しては、一般利用及び大会が中止になったことで目標を下回った。天候等の外部要因により利用者数が大きく変化する施設であるが、魅力ある事業の展開や施設のPRにより、引き続き利用者数の確保を期待したい。
自主（指定）事業に対する評価	指定事業は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、KAKOGAWA スプリングカップボート大会が中止となった。自主事業については、クルーのための体力測定が好評であり、オフシーズン中にも多数の参加者を得たことは評価できる。新型コロナウイルス感染症の影響などにより実施できなかった事業については、次年度以降に期待したい。
施設維持に対する評価	定期的な館内清掃・植栽、警備に係る各種定期点検及び維持管理がなされている。また、修繕費・備品購入費ともに予算の範囲内で必要分を執行しており、適切な維持管理がなされている。
収支状況に対する評価	収入全体では、貸館・貸艇による利用料金収入は1割に満たず、指定管理料が主な収入源となっている。定期的な館内清掃・点検の実施、自主事業の展開、また、必要な修繕・備品購入を行っている。
総合評価	新型コロナウイルス感染症による影響をうけながらも、基本協定書、事業計画書に基づき管理運営等について、概ね良好に遂行することができた。体験教室等の実施や、各種ボート大会への積極的な協力などを通じ、ボート競技の普及に寄与している。また、施設の設備、備品の改善に取り組み、利用者の利便性、安全性を向上することに力を入れていることは評価できる。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：令和３年度)

施設名	加古川海洋文化センター
指定管理者	S&O グループ
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日まで
施設所管課	市民協働部 スポーツ・文化課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数（人）	128,622	105,206	新型コロナウイルス感染症による利用控えからの回復傾向による利用者増
図書貸出冊数（冊）	209,022	161,239	新型コロナウイルス感染症による利用控えからの回復傾向による貸出冊数増

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	94,810,982	97,183,581	
（うち指定管理料）	82,961,630	81,758,953	
（うち利用料金）	243,320	248,382	新型コロナウイルス感染症拡大による利用者減等
（うちその他）	11,606,032	15,176,246	感染症対策委託費等の減
支出金額（円）	89,211,298	85,953,907	

3 自己評価

自己評価コメント	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、まん延防止措置期間が長引いたことにより、利用者の利用控えが目立ったように感じたが、感染症対策を講じた上で、安心・安全にサービスを利用できるよう工夫したことで、講座やイベントの参加者数増や来館者増につながった。今後も利用者の満足度につながるサービスの提供を心掛けたい。
----------	---

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	新たな事業を取り入れる等、魅力的な施設となるよう努めており、引き続き期待したい。1年を通してコミュニティの場として親子連れを中心に利用されていることは評価できる。
利用状況に対する評価	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、利用者数や稼働率、図書貸出数等は目標値に達しなかった。引き続きパンフレットの設置やSNSの活用等で施設をPRするなど、利用者増に努められたい。
自主（指定）事業に対する評価	指定事業は「出前水族館」、「ヨット体験」等が目標値を上回り、自主事業は、「あかちゃん絵本の会」、「わくわく科学教室」等が目標値を上回ったが、いずれも多く事業が新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなかった。試行錯誤しながら事業を実施した1年であり、次年度に生かされることを期待したい。
施設維持に対する評価	定期的な館内清掃・植栽、警備に係る各種定期点検及び維持管理がなされている。また、修繕費・備品購入費ともに、必要分を適宜執行しており、適切な維持管理がなされている。
収支状況に対する評価	収入全体としては、利用料金収入等の占める割合が低く、指定管理料が9割以上を占め、主な収入源となっている。支出については、定期的な館内清掃・点検の実施、自主事業の展開、また、必要な修繕・備品購入を行い、予算の範囲内で、ほぼ計画どおりの執行ができている。
総合評価	新型コロナウイルス感染症による影響をうけながらも、基本協定書、事業計画書に基づき管理運営等について、良好に遂行することができた。特に子ども連れの利用者が多く、海洋文化に関する知識の普及だけでなく、親子で楽しめる事業を多数行い、子育て支援の拠点としての役割も果たしていることは評価できる。本施設は図書室という特色があり、地域の交流拠点のひとつともなっており、今後も施設の重要性がますます高まってくると考えられる。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：令和３年度)

施 設 名	加古川スポーツ交流館
指定管理者	S&O グループ
指 定期 間	平成 31 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日まで
施設所管課	市民協働部 スポーツ・文化課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数（人）	79,817	73,897	新型コロナウイルス感染症による利用控えからの回復傾向による利用者増

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	109,925,394	103,078,918	
（うち指定管理料）	58,876,585	54,279,645	指定管理者変更時の提案額に基づく
（うち特定修繕費）	2,456,245	2,331,010	
（うち利用料金）	28,989,196	26,930,275	新型コロナウイルス感染症による利用控えから回復傾向による利用料金増収
（うちその他）	19,603,368	19,537,988	
支出金額（円）	112,335,766	111,949,073	

3 自己評価

自己評価コメント	昨年度に続き新型コロナウイルス感染症対策を継続しながらの対応のため、サービスの一部制限を行っているが、利用者からのご意見に対して真摯な対応を行い、利用者がまた来たくなる施設づくり・環境づくりに尽力した。
----------	---

4 施設所管課評価

運営（サービス） に対する評価	新たな事業を取り入れる等、魅力的な施設となるよう努めており、引き続き期待したい。1年を通してコミュニティの場として多くの世代の方に利用されていることは評価できる。
利用状況に対する 評価	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、利用者数や利用料金収入は目標値に達しなかった。引き続きパンフレットの設置や SNS の活用等で施設を PR し、利用者増に努められたい。
自主（指定）事業 に対する評価	指定事業については、「親子スイミング A」や「乳幼児わくわく体操」等が引き続き好評で、目標値を上回った。自主事業については、新型コロナウイルス感染症の影響もあり全体を通して目標値を下回っているが、多様なプログラムを取り入れ、利用者が飽きることなく運動ができるよう取り組んでいることは評価できる。今後、さらに利用者の満足を得られる事業展開を期待する。
施設維持に対する 評価	定期的な館内清掃・植栽、警備に係る各種定期点検及び維持管理がなされている。また、修繕費・備品購入費ともに、必要分を適宜執行しており、適切な維持管理がなされている。
収支状況に対する 評価	収入全体としては、利用料金収入と指定事業収入が3割強を占めているが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、計画通りの確保までは至っていない。支出については、定期的な館内清掃・点検の実施、自主事業の展開、また、必要な修繕・備品購入を行い、適切に執行できている。
総合評価	新型コロナウイルス感染症による影響をうけながらも、基本協定書、事業計画書に基づき管理運営等について、良好に遂行することができた。指定事業、自主事業については、目標値を達成するため、今後の展開に期待したい。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：令和３年度)

施 設 名	浜の宮市民プール
指定管理者	S&O グループ
指 定 期 間	平成 31 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日まで
施設所管課	市民協働部 スポーツ・文化課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数（人）	30,877	0	令和２年度全日閉園のため

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	25,823,470	5,619,878	
（うち指定管理料）	5,533,446	2,473,424	令和２年度全日休園、令和３年度期間短縮開園のため光熱水費執行額増。光熱水費については指定管理料より光熱水費予算額に満たない金額（余剰金）について返還のため、令和３年度は返還額減となり指定管理料が増額。
（うち利用料金）	18,415,952	0	令和２年度全日休園、令和３年度期間短縮開園により利用料金増
（うちその他）	1,874,072	3,146,454	感染症対策委託費等の減
支出金額（円）	25,310,291	8,779,751	

3 自己評価

自己評価コメント	新型コロナウイルス感染症対策を講じながらの運営の中で、入園方法や更衣室における密の回避等、試行錯誤する１年であった。 次年度においては、今年度の経験を生かし、新型コロナウイルス感染症対策を講じた中でも、より質の高いサービスが提供できるよう努める。
----------	---

4 施設所管課評価

運営（サービス） に対する評価	新型コロナウイルス感染症の影響により、例年より期間を短縮したり、入場人数を制限しての営業となった。同感染症の推移にもよるが、今後の運営に期待したい。
利用状況に対する 評価	新型コロナウイルス感染症の影響により、例年より期間を短縮したり、入場人数を制限しての営業となったこともあり、利用者数は目標値を下回った。同感染症の推移にもよるが、今後の利用促進に期待したい。
自主（指定）事業 に対する評価	指定事業、自主事業については、新型コロナウイルス感染症の影響で一部を中止したり、営業期間を期間短縮したこともあり、いずれも目標値を下回った。同感染症の推移にもよるが、今後の事業展開に期待したい。
施設維持に対する 評価	定期的な清掃・植栽、警備に係る各種定期点検及び維持管理がなされている。また、修繕費、備品購入費共に必要分を執行しており、適切な維持管理がなされている。
収支状況に対する 評価	収入全体としては、利用料金収入が7割強を占めているが、新型コロナウイルス感染症の影響により、例年より期間短縮しての営業となったこともあり、計画通りの確保までは至っていない。支出については、定期的な清掃・点検の実施、自主事業の展開、また、必要な修繕・備品購入を行い、適切に執行できている。
総合評価	新型コロナウイルス感染症による影響をうけながらも、基本協定書、事業計画書に基づき管理運営等について、良好に遂行することができた。指定事業、自主事業については、目標値を達成するため、今後の展開に期待したい。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：令和３年度)

施設名	加古川市立日岡山体育館
指定管理者	ミズノグループ
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日まで
施設所管課	市民協働部 スポーツ・文化課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数（人）	34,344	81,784	新型コロナウイルス感染症の影響及びワクチン集団接種会場による。
競技場稼働率（％）	59	79	新型コロナウイルス感染症の影響及びワクチン集団接種会場による。

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	75,131,824	77,375,859	大会等の中止
（うち指定管理料）	54,744,514	53,897,409	
（うち利用料金）	5,498,765	13,013,065	大会等の中止
（うちその他）	14,888,545	10,465,385	ワクチン接種会場協力金等
支出金額（円）	75,254,641	76,726,938	

3 自己評価

自己評価コメント	施設全体の受付業務を一括集中することにより、全ての出来事に対して、臨機応変な対応で総合的な管理を行うことができた。また、安全にも配慮して運営できた。
----------	--

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	日岡山公園内の7施設一括での指定管理を受けており、施設をまたいだスタッフの配置など、繁忙・閑散期など状況に応じた効率的な運営を行っている。利用者のニーズに応じて安全で快適な施設運営ができている。
利用状況に対する評価	新型コロナウイルス感染症や、ワクチン集団接種会場開設による影響もあり、利用者数、稼働率とも昨年度を下回っている。今後のワクチン集団接種の動向も見ながら、利用者数の動向をみていきたい。
自主（指定）事業に対する評価	新型コロナウイルス感染症や、ワクチン集団接種会場開設による影響もあり、指定事業は実施できず、自主事業は目標値を下回った。自主事業については、「ロゲイニング」を規模縮小のうえで開催し好評を得たので、次回以降の展開に期待したい。他の事業についても、引き続き参加者の獲得に努められたい。
施設維持に対する評価	定期的な館内清掃・植栽、警備に係る各種定期点検及び維持管理がなされている。また、修繕料・備品購入費ともに必要分を執行しており、適切な維持管理がなされている。
収支状況に対する評価	収入全体としては、多くの事業を実施できなかったことによる事業収入減の影響により、指定管理料による収入が大半を占めている。支出については、定期的な館内清掃・点検の実施、自主事業の展開、また、必要な修繕・備品購入を行い、適切に執行できている。
総合評価	新型コロナウイルス感染症や、ワクチン集団接種会場開設による影響をうけながらも、基本協定書、事業計画書に基づき管理運営等について、良好に遂行することができた。また、市民スポーツの拠点として定着しており、市民スポーツの環境づくりに寄与している。自主事業についても利用者のニーズを把握し、「ロゲイニング」などの特色ある事業を展開することで多くの参加者を集めていることは評価できる。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：令和３年度)

施 設 名	加古川市立武道館
指定管理者	ミズノグループ
指 定 期 間	平成 31 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日まで
施設所管課	市民協働部 スポーツ・文化課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数（人）	31,582	26,331	新型コロナウイルス感染症の影響による利用制限あり。前年よりは緩和。
武道場稼働率（％）	52	44	利用制限が前年より緩和。

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	12,353,865	13,468,020	
（うち指定管理料）	9,275,731	9,119,499	
（うち利用料金）	2,491,970	2,182,590	
（うちその他）	586,164	2,165,931	感染症対策委託費等の減
支出金額（円）	12,641,238	13,914,928	

3 自己評価

自己評価コメント	施設全体の受付業務、利用者への接客、清掃業務、メンテナンスなど総合的な運営管理を行うことができた。
----------	---

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	日岡山公園内の7施設一括での指定管理を受けており、施設をまたいだスタッフの配置など、繁忙・閑散期など状況に応じた効率的な運営を行っている。利用者のニーズに応じて安全で快適な施設運営ができています。
利用状況に対する評価	新型コロナウイルス感染症による影響の緩和もあり、利用者数、稼働率、利用料金収入ともに昨年度比で増加している。今後も利用者数増の一層の向上へ向けて期待したい。
自主（指定）事業に対する評価	指定事業、自主事業とも目標値を下回った。指定事業については、親子で7施設を回り、各テーマをクリアしてスタンプを集める「親子スポーツスタンプラリー」は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止した。自主事業についても、多くの事業が中止を余儀なくされるなど、新型コロナウイルス感染症の影響が大きかった。今後、引き続き参加者の獲得に努められたい。
施設維持に対する評価	定期的な館内清掃・植栽、警備に係る各種定期点検及び維持管理がなされている。また、修繕料・備品購入費ともに必要分を執行しており、適切な維持管理がなされている。
収支状況に対する評価	収入全体としては、貸館による利用料金収入、その他が2割程度で、指定管理料収入が多くを占めている。支出については、定期的な館内清掃・点検の実施、自主事業の展開を行っている。また、必要な修繕・備品購入を行い、適切に執行できている。
総合評価	新型コロナウイルス感染症による影響をうけながらも、基本協定書、事業計画書に基づき管理運営等について、良好に遂行することができた。指定事業及び自主事業については、目標値を達成するため、今後の展開に期待したい。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：令和３年度)

施 設 名	日岡山公園グラウンド
指定管理者	ミズノグループ
指 定 期 間	平成 31 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日まで
施設所管課	市民協働部 スポーツ・文化課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数（人）	51,785	48,947	新型コロナウイルス感染症の影響による利用制限あり。前年よりは緩和。
稼働率（％）	80	79.1	利用制限が前年より緩和。

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	7,971,200	8,861,970	
（うち指定管理料）	0	0	
（うち利用料金）	7,454,200	7,123,970	
（うちその他）	517,000	1,738,000	感染症対策委託費等の減
支出金額（円）	7,717,709	8,685,759	

3 自己評価

自己評価コメント	新型コロナウイルス感染症の影響を受けたが、高い稼働率を維持することができた。
----------	--

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	日岡山公園内の7施設一括での指定管理を受けており、施設をまたいだスタッフの配置など、繁忙・閑散期など状況に応じた効率的な運営を行っている。また、スポーツ関連企業の経験を生かしたサッカースクールは多くの参加者を集め、児童の競技能力向上に寄与している。
利用状況に対する評価	新型コロナウイルス感染症による影響の緩和もあり、利用者数、稼働率とも目標値を上回っており、各競技協会の定期的な利用もあり安定した利用を確保しており評価できる。今後も引き続き利用者の維持、獲得に努められたい。
自主（指定）事業に対する評価	指定事業、自主事業とも目標値を下回った。指定事業については、親子で7施設を回り、各テーマをクリアしてスタンプを集める「親子スポーツスタンプラリー」は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止した。自主事業のサッカースクールについては、参加者に好評であったが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、目標値は下回った。今後、引き続き参加者の獲得や満足度の向上等に努められたい。
施設維持に対する評価	定期的な清掃・植栽に係る各種定期点検及び維持管理がなされている。また、修繕費、備品購入費ともにほぼ予算どおりに必要分を執行しており、適切な維持管理がなされている。
収支状況に対する評価	指定管理料はなく、利用料金収入が全体の9割強を占めているが、おおむね計画通り確保できている。支出については、定期的な清掃・点検の実施、自主事業の展開、また、必要な修繕・備品購入を行い、適切に執行できている。
総合評価	新型コロナウイルス感染症による影響をうけながらも、基本協定書、事業計画書に基づき管理運営等について、良好に遂行することができた。また、競技団体と連携をとり、高い稼働率を維持することができている。指定事業及び自主事業については、目標値を達成するため、今後の展開に期待したい。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：令和３年度)

施設名	日岡山公園第１テニスコート
指定管理者	ミズノグループ
指定期間	平成３１年４月１日から令和６年３月３１日まで
施設所管課	市民協働部 スポーツ・文化課

１ 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数（人）	17,218	15,434	新型コロナウイルス感染症の影響による利用制限あり。前年よりは緩和。
稼働率（％）	61	56.9	利用制限が前年より緩和。

２ 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	7,628,004	7,748,135	
（うち指定管理料）	2,078,268	2,343,200	
（うち利用料金）	5,131,570	4,736,900	屋外施設の需要が高まったため
（うちその他）	418,166	668,035	感染症対策委託費等の減
支出金額（円）	6,134,169	6,402,100	

３ 自己評価

自己評価コメント	新型コロナウイルス感染症の影響で学校部活動の利用制限がかかる中、一般利用者の屋外施設の需要が高まり、稼働率は前年を上回った。
----------	--

4 施設所管課評価

運営（サービス） に対する評価	日岡山公園内の7施設一括での指定管理を受けており、施設をまたいだスタッフの配置など、繁忙・閑散期など状況に応じた効率的な運営を行っている。
利用状況に対する 評価	新型コロナウイルス感染症による影響の緩和もあり、利用者数、稼働率とも目標値を上回っており評価できる。今後も引き続き利用者の維持獲得、満足度の向上に努められたい。
自主（指定）事業 に対する評価	指定事業については、親子で7施設を回り、各テーマをクリアしてスタンプを集める「親子スポーツスタンプラリー」は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止した。自主事業のテニススクールについては、参加者に好評であり、目標値を上回ることができた。今後、引き続き参加者の獲得に努められたい。
施設維持に対する 評価	定期的な清掃・植栽、警備に係る各種定期点検及び維持管理がなされている。また、修繕費、備品購入費ともに、必要分を執行しており、適切な維持管理がなされている。
収支状況に対する 評価	収入全体としては、貸館による利用料金収入と指定事業収入が7割弱で、指定管理料以外での収入もおおむね計画通り確保できている。支出については、定期的な清掃・点検の実施、自主事業の展開、また、必要な修繕・備品購入を行い、適切に執行できている。
総合評価	新型コロナウイルス感染症による影響をうけながらも、基本協定書、事業計画書に基づき管理運営等について、良好に遂行することができた。また、高い稼働率を維持することができている。指定事業については、目標値を達成するため、今後の展開に期待したい。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：令和３年度)

施 設 名	日岡山公園第２テニスコート
指定管理者	ミズノグループ
指 定 期 間	平成 31 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日まで
施設所管課	市民協働部 スポーツ・文化課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数（人）	6,739	5,272	新型コロナウイルス感染症の影響による利用制限あり。前年よりは緩和。
稼働率（％）	33	22.6	利用制限が前年より緩和。

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	3,894,889	3,919,515	
（うち指定管理料）	2,462,982	2,500,037	
（うち利用料金）	1,260,950	963,300	
（うちその他）	170,957	456,178	感染症対策委託費等の減
支出金額（円）	3,280,611	3,588,321	

3 自己評価

自己評価コメント	冬季期間はグラウンドが凍結し使用できないことが多いが、ニガリを撒いたり、整備時間を増やし、少しでもコートが稼働するよう努めた。
----------	---

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	日岡山公園内の7施設一括での指定管理を受けており、施設をまたいだスタッフの配置など、繁忙・閑散期など状況に応じた効率的な運営を行っている。指定管理者が定める基準により利用料金を引き下げることで、より多くの利用者が気軽に利用できる環境を整えている。
利用状況に対する評価	新型コロナウイルス感染症による影響の緩和もあり、利用者数、稼働率とも目標値を上回っており評価できる。今後も引き続き利用者の維持、獲得に努められたい。
自主（指定）事業に対する評価	指定事業については、親子で7施設を回り、各テーマをクリアしてスタンプを集める「親子スポーツスタンプラリー」は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止した。自主事業のテニススクールについては、参加者に好評であったが、目標値は下回った。今後、引き続き参加者の獲得に努められたい。
施設維持に対する評価	定期的な清掃・植栽、警備に係る各種定期点検及び維持管理がなされている。また、修繕費、備品購入費ともに、必要分を執行しており、適切な維持管理がなされている。
収支状況に対する評価	収入全体としては、貸館による利用料金収入、その他が3分の1程度で、指定管理料収入が多くを占めている。支出については、定期的な清掃・点検の実施、自主事業の展開、また、必要な修繕・備品購入を行い、適切に執行できている。
総合評価	新型コロナウイルス感染症による影響をうけながらも、基本協定書、事業計画書に基づき管理運営等について、良好に遂行することができた。指定事業、自主事業については、目標値を達成するため、今後の展開に期待したい。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：令和３年度)

施 設 名	日岡山公園野球場
指定管理者	ミズノグループ
指 定 期 間	平成 31 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日まで
施設所管課	市民協働部 スポーツ・文化課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数（人）	11,051	10,730	新型コロナウイルス感染症の影響による利用制限あり。前年よりは緩和。
稼働率（％）	43	39.1	利用制限が前年より緩和。

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	20,755,943	22,011,483	
（うち指定管理料）	17,991,644	17,799,754	
（うち利用料金）	2,408,380	2,442,950	利用制限による。
（うちその他）	355,919	1,768,779	感染症対策委託費等の減
支出金額（円）	20,289,555	21,236,478	

3 自己評価

自己評価コメント	利用者からはグラウンドの状態について満足している趣旨の言葉をいただき、取組成果は利用者に伝わっていると実感した。
----------	--

4 施設所管課評価

運営（サービス） に対する評価	日岡山公園内の7施設一括での指定管理を受けており、施設をまたいだスタッフの配置など、繁忙・閑散期など状況に応じた効率的な運営を行っている。専門的な知識と技術を生かし、施設管理を行っている。
利用状況に対する 評価	新型コロナウイルス感染症による影響の緩和もあり、利用者数、稼働率とも前年度を上回っており評価できる。今後も引き続き利用者の維持、獲得に努められたい。
自主（指定）事業 に対する評価	指定事業、自主事業とも目標値を下回った。指定事業については、親子で7施設を回り、各テーマをクリアしてスタンプを集める「親子スポーツスタンプラリー」は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止した。自主事業については、「ヘキサスロン」を実施し好評を得たが、参加者数は目標値に達しなかった。今後、引き続き参加者の獲得に努められたい。
施設維持に対する 評価	定期的な清掃・植栽に係る各種定期点検及び維持管理がなされている。また、修繕費、備品購入費ともにほぼ予算どおりに必要分を執行しており、適切な維持管理がなされている。
収支状況に対する 評価	収入全体としては、貸館による利用料金収入、その他が1割強程度で、指定管理料収入が多くを占めている。支出については、定期的な清掃・点検の実施、自主事業の展開、また、必要な修繕・備品購入を行っている。
総合評価	新型コロナウイルス感染症による影響をうけながらも、基本協定書、事業計画書に基づき管理運営等について、良好に遂行することができた。また、競技団体と連携をとり、高い稼働率を維持することができている。指定事業及び自主事業については、目標値を達成するため、今後の展開に期待したい。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：令和３年度)

施 設 名	日岡山市民プール
指定管理者	ミズノグループ
指 定 期 間	平成 31 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日まで
施設所管課	市民協働部 スポーツ・文化課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数（人）	15,412	0	開場期間短縮による。昨年度は中止。
利用料金（円）	6,405,480	0	開場期間短縮による。昨年度は中止。

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	7,630,965	3,795,000	昨年度は休場
（うち指定管理料）	0	0	
（うち利用料金）	6,405,480	0	
（うちその他）	1,225,485	3,795,000	感染症対策委託費等の減
支出金額（円）	10,881,347	8,121,484	

3 自己評価

自己評価コメント	コロナ禍での営業のため、場内の消毒実施及び人員を増やし監視体制を強化し安心して入場いただけるよう配慮し、多くの方々に喜ばれた。
----------	---

4 施設所管課評価

運営（サービス） に対する評価	新型コロナウイルス感染症の影響により、例年より期間を短縮したり、入場人数を制限しての営業となった。同感染症の推移にもよるが、今後の運営に期待したい。
利用状況に対する 評価	新型コロナウイルス感染症の影響により、例年より期間を短縮したり、入場人数を制限しての営業となったこともあり、利用者数は目標値を下回った。同感染症の推移にもよるが、今後の利用促進に期待したい。
自主（指定）事業 に対する評価	指定事業については、親子で7施設を回り、各テーマをクリアしてスタンプを集める「親子スポーツスタンプラリー」は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止した。自主事業の「縁日」は、新型コロナウイルス感染症の影響により期間短縮したこともあり、目標値を下回った。同感染症の推移にもよるが、今後の事業展開に期待したい。
施設維持に対する 評価	定期的な清掃・植栽、警備に係る各種定期点検及び維持管理がなされている。また、修繕費、備品購入費共に必要分を執行しており、適切な維持管理がなされている。
収支状況に対する 評価	収入全体としては、利用料金収入が8割強を占めているが、新型コロナウイルス感染症の影響により、例年より期間を短縮したり、入場人数を制限しての営業となったこともあり、計画通りの確保までは至っていない。支出については、定期的な清掃・点検の実施、自主事業の展開、また、必要な修繕・備品購入を行い、適切に執行できている。
総合評価	新型コロナウイルス感染症による影響をうけながらも、基本協定書、事業計画書に基づき管理運営等について、良好に遂行することができた。指定事業、自主事業については、目標値を達成するため、今後の展開に期待したい。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：令和３年度)

施 設 名	加古川市立志方体育館
指定管理者	特定非営利活動法人加古川総合スポーツクラブ
指 定 期 間	平成 31 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日まで
施設所管課	市民協働部 スポーツ・文化課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数(人)	28,705	23,188	前年度と比べ、緊急事態宣言による休館や時短営業の期間が短かったため。

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	10,070,841	10,475,417	
（うち指定管理料）	5,878,302	5,736,881	
（うち利用料金）	3,602,190	2,987,610	前年度と比べ緊急事態宣言による休館等が少なかった
（うちその他）	590,349	1,750,926	感染症対策委託費等の減
支出金額（円）	9,213,021	9,609,315	

3 自己評価

自己評価コメント	利用者が利用するトイレのスムーズな出入り対策として、スイングドアに交換したことにより、トイレのドアの開けっ放し防止に加え、スリッパの整理整頓もしやすくなった。
----------	---

4 施設所管課評価

運営（サービス） に対する評価	志方東公園テニスコートと一括で指定管理を受けており、施設をまたいだスタッフの配置など、繁忙・閑散期など状況に応じた効率的な運営を行っている。また、アンケート等に基づき、利用者のニーズに応えた運営を心がけており、指定管理者の特性を活かして、スポーツの普及に寄与している。
利用状況に対する 評価	新型コロナウイルス感染症による影響の緩和もあり、利用者数は目標値を上回った。今後も利用者のニーズを把握して事業展開を行い、利用者数、利用率、稼働率等を増加させる工夫をし、施設の有効活用に努められることを期待したい。
自主（指定）事業 に対する評価	自主事業であるシェイプアップ教室は、年間を通して参加者数が安定しており、利用者から高評価を得ている。また、地域感謝運動会は、地域との交流を深め施設の存在をPRできる良い機会となっている。今後も新規利用者獲得のため新たな事業の展開に期待する。
施設維持に対する 評価	定期的な館内清掃・植栽、警備に係る各種定期点検及び維持管理がなされている。また、修繕料・備品購入費ともに必要分を執行しており、適切な維持管理がなされている。
収支状況に対する 評価	収入としては、指定管理料以外に、貸館による利用料金収入が約4割を占めているが、ほぼ計画通り確保できている。支出については、定期的な館内清掃・点検の実施、自主事業の展開、また、必要な修繕・備品購入を行っており、適切に執行できている。
総合評価	新型コロナウイルス感染症による影響をうけながらも、基本協定書、事業計画書に基づき管理運営等について、良好に遂行することができている。地元に密着した施設運営ができており、市北部のスポーツの場として親しまれている。積極的に自主事業に取り組み、シェイプアップ教室、卓球教室など独自の事業を行い、好評を得ている。今後もより一層、利用者ニーズに沿った事業を期待する。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：令和３年度)

施 設 名	志方東公園テニスコート
指定管理者	特定非営利活動法人加古川総合スポーツクラブ
指 定 期 間	平成 31 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日まで
施設所管課	市民協働部 スポーツ・文化課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数（人）	7,990	6,901	前年度と比べ、緊急事態宣言による休館や時短営業の期間が短かったため。

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	7,014,950	6,990,189	
（うち指定管理料）	4,108,528	4,110,381	
（うち利用料金）	2,671,930	2,415,300	
（うちその他）	234,492	464,508	感染症対策委託費等の減
支出金額（円）	6,243,063	6,409,139	

3 自己評価

自己評価コメント	コートの人工芝の修繕要望が多いので、毎年少しずつ部分的に補修するようにした。
----------	--

4 施設所管課評価

運営（サービス） に対する評価	志方体育館との一括で指定管理を受けており、施設をまたいだスタッフの配置など、繁忙・閑散期など状況に応じた効率的な運営を行っている。また、親しみやすい施設として多くのリピーターに親しまれている。指定管理者の特性を生かして、スポーツの普及に寄与している。
利用状況に対する 評価	新型コロナウイルス感染症による影響の緩和もあり、利用者数は目標値を上回っており、リピーターをしっかりと確保している。今後も利用者のニーズを把握して事業展開を行い、利用者数、利用率、稼働率を増加させる工夫をし、施設の有効活用に努められることを期待したい。
自主（指定）事業 に対する評価	自主事業であるテニス教室が好評であり、参加者数も目標値を達成している。利用者から高評価を得ている事業であるので、今後も当事業を継続し、満足度の向上を図られたい。
施設維持に対する 評価	定期的な清掃・植栽、警備に係る各種定期点検及び維持管理がなされている。また、修繕料・備品購入費ともに必要分を執行しており、適切な維持管理がなされている。
収支状況に対する 評価	収入としては、貸施設による利用料金収入が4割弱を占めており、利用状況に左右される面が大きい。運営努力の結果おおむね計画通り確保できている。支出については、定期的な清掃・点検の実施、自主事業の展開、また、必要な修繕・備品購入を行っており、適切に執行できている。
総合評価	新型コロナウイルス感染症による影響をうけながらも、基本協定書、事業計画書に基づき管理運営等について、良好に遂行することができた。自主事業のテニス教室は、初心者教室など利用者に親しみやすい事業に取り組み、利用者数の目標値を上回ったことは評価できる。今後は、施設の認知度向上のための事業を展開し、更に多くの人に利用される施設となることを期待する。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：令和３年度)

施設名	加古川市立総合体育館及び加古川運動公園陸上競技場
指定管理者	株式会社加古川運動公園市民スポーツサービス
指定期間	平成17年12月2日から令和7年3月31日まで
施設所管課	市民協働部 スポーツ・文化課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
総合体育館 施設使用者数（人）	113,745	62,196	令和３年度も昨年度に引き続きコロナ禍の影響を受け、第1～4四半期を通して施設の使用禁止等により予定されていた大会が中止または縮小された。しかし、総合体育館がワクチン集団接種会場となり、ワクチン接種者数及び医療関係者約6万人が施設使用者にカウントされたために、大幅な増加となった。
陸上競技場 施設使用者数（人）	76,602	48,608	大会数は同じだが、前年度は無観客で行われたところを、今年度は保護者のみ観戦することができたために、約6割の増加となった。

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	217,522,863	382,217,845	
（うち割賦売上高）	0	171,797,480	収益認識会計基準変更による
（うち管理・運営業務料）	211,037,794	210,420,365	消費者物価指数変動による増加額
（うちその他）	6,485,069		収益認識会計基準変更による受取利息
支出金額（円）	212,586,930	376,957,665	

3 自己評価

自己評価コメント	以下の活動を行った。 1. 運営に関する事項 ① バスケットボールによる展開 みるスポーツ： 男子プロバスケットボールBリーグ加古川大会を開催することで、トップアスリートのプレーの観戦機会を提供できた。
----------	---

	するスポーツ： 前座試合として、小学生のミニバスケットボールの試合を予定していたが、残念ながら、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の一環として中止とした。次年度以降は、バスケットボールの普及とレベルアップを図るためにも実施したい。 ささえるスポーツ： 広報かがわや市ホームページの掲載、また、市教育委員会を通じて小中学校にチラシの配布をした。 ② 世代間の交流活動 カローリング教室を開講して普及活動を行い、その成果として、各地(岡山・徳島・大阪等)からの参加者を交えて第 15 回大会を予定したが、コロナ禍 のため中止した。 2. 維持管理に関する事項 清掃に関しては、気持ちよく利用できる清潔な環境を維持するために、充分気を配り、「いつもきれいな施設である」と利用者に評価していただいている。今後もこの評価を維持できるようにする。 設備については、体育館・競技場とも、水回りを中心に経年劣化による不具合が発生しつつあるので引き続き、予防保全の観点から早期発見・早期修理を心がけていく。
--	--

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	PFI 事業の基本方針である「するスポーツ、みるスポーツ、ささえるスポーツ」の拠点となっており、様々なスポーツで重要な施設として広報することができている。また、アンケートの実施や有識者等による活性化委員会の開催により、サービスの向上に努めている。
利用状況に対する評価	利用者数について、総合体育館、陸上競技場ともに、新型コロナウイルス感染症による影響が緩和されたこともあり、前年度を上回る実績となった。引き続き利用者の維持、獲得に期待したい。
自主（指定）事業に対する評価	PFI 事業については、市主催スポーツ教室、自主活性化事業等の各教室を実施し、市民スポーツへの関心を高め施設の活性化に寄与した。
施設維持に対する評価	定期的な館内清掃・植栽、警備に係る各種定期点検及び維持管理がなされている。
収支状況に対する評価	収入については市から委託料が大半を占めている。支出は、定期的な館内清掃・点検の実施、事業の展開、また、必要な修繕・備品購入を行った。
総合評価	新型コロナウイルス感染症による影響をうけながらも、PFI 事業要求水準書（一次、二次）に基づく提案書、事業計画書に基づいて、管理運営を確実に実施している。総合体育館においては、活性化事業とし

	て様々な教室を実施し、市民の健康づくりに大きく寄与している。また、無料開放している市民クラブルームをはじめ、近隣住民を中心にコミュニティ施設として定着している。陸上競技場においては陸上競技教室を実施し、児童の競技能力向上に寄与している。
--	---

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：令和３年度)

施設名	加古川市立勤労会館
指定管理者	一般社団法人 加古川労働者福祉協議会
指定期間	令和３年４月１日から令和４年３月３１日
施設所管課	産業経済部 産業振興課

１ 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数（人）	42,413	34,914	新型コロナウイルスもやや落ち着き、前年度より市からの規制が少なかった為、若干の増
利用件数（件）	2,895	2,227	同上

２ 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	21,406,794	20,114,161	
（うち指定管理料）	18,383,891	17,197,411	
（うち利用料金）	2,858,220	2,333,290	前年度より新型コロナへの市からの規制が少なかったため通常運営ができたこと。
（うちその他）	164,683	583,460	新型コロナ感染防止対策に係る協力金の減
支出金額（円）	20,757,936	19,503,542	人件費、水道光熱費の増

３ 自己評価

自己評価コメント	今年度で加古川市立勤労会館が閉館されるにあたり、これまで以上にお客様対応サービスの向上に努めた。施設の老朽化により修繕箇所が増えているが、修繕費を出来るだけ支出しないで、職員の技術や手腕で対策改善を行い、無駄な経費削減に努めた。 貸館業務については、大きなトラブルもなく、適切に管理運営を行うことができて満足感に満ち溢れている。
----------	--

4 施設所管課評価

運営（サービス） に対する評価	基本協定書等に基づき、円滑に施設の運営が行われている。新型コロナウイルスの感染拡大に伴う対応についても、速やかにかつトラブルなく対応することができている。
利用状況に対する 評価	利用件数、利用人数ともに令和2年度を上回っている。コロナ禍において、感染防止対策を実施しながら、一定の利用数を確保し、安全に会館の運営することができたことは評価できる。
自主（指定）事業 に対する評価	勤労者の就労支援を目的とし、スキルアップにつながる各種事業を実施した。指定事業については、履歴書の書き方や面接の受け方について個別に指導を行う「就職活動個別指導」が好評であった。
施設維持に対する 評価	定例的な施設の点検及び維持管理が適正に行われている。また、消毒等の感染対策も確実に実施されている。 このほか、施設が老朽化している中で、予算の範囲内で、また経費を抑えながら修繕ができている。
収支状況に対する 評価	光熱水費の経費節減に取り組み、指定管理料の一部が返還された。
総合評価	適切に運営・管理されている。

指定管理業務の評価結果について

（評価対象年度：令和３年度）

施 設 名	加古川市立地域産業振興センター
指定管理者	地域産業振興センター運営協議会
指 定 期 間	令和３年４月１日から令和８年３月３１日まで
施設所管課	産業経済部 産業振興課

１ 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数（人）	6,507	6,175	新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う施設閉鎖が実施されなかったため利用者が増加した。

２ 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	6,386,029	6,327,992	
（うち指定管理料）	6,383,019	6,327,442	
支出金額（円）	6,386,029	6,327,992	

３ 自己評価

自己評価コメント	利用者に対してアンケート調査を実施し、快適に施設を利用してもらえるように対処している。設備点検や簡易な修繕を行い、地域に開かれた施設として適切に管理運営している。 引き続き、感染症対策として、利用前後の検温、消毒、換気、を徹底し、安心・安全に施設を利用してもらえよう対策を行っている。
----------	--

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	施設の管理運営業務においては、事業計画通り実施されている。利用者アンケートによる施設利用の満足度は 91.5%で、中でも窓口の対応に関する満足度は 97.4%、清掃・美観は 93.3%と評価が高く、利用者等の意見を把握し、管理運営に反映されていると評価できる。
利用状況に対する評価	利用者数については、貸館休止を実施した令和2年度よりも増えている。新型コロナウイルス感染拡大以前までの利用者数と比較すると減少傾向であるが、地元町内会等との連携のもと、きめ細やかな施設の管理運営が図られており、地域の拠点となるよう利用促進にも努めている。
自主（指定）事業に対する評価	適切な感染症対策を講じながら、みどり喫茶事業を運営することで、地域住民のコミュニティ形成及び当該センターの利用促進が図られている。靴下の購入希望者があれば、販売業者へ取り次ぐなど、地場産業の販売促進に努めている。
施設維持に対する評価	清掃業務については業者委託により適切に実施しているほか、事務員でも掃除を行っている。 修繕関係への意見・要望については、緊急性のあるものから順次計画的に対応している。 こまめな消灯や電源の ON/OFF 等を徹底し、省エネの取組も積極的に進めている。
収支状況に対する評価	不要な支出は認められず、適正に経理処理されている。 コピー用紙の裏面利用や古封筒の再利用など事務用品の経費削減を徹底しており、光熱水費の返還も行っている。
総合評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止のための適切な対策を行い、適正に運営・管理されている。地域産業の振興と地域住民の生活文化向上である施設の目的にそった管理運営が行われている。 経費削減についても、細部にわたり努力が認められる。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：令和３年度)

施設名	加古川市立しろやま農業研修センター
指定管理者	しろやま農業研修センター管理運営協議会
指定期間	令和３年４月１日から令和８年３月３１日まで
施設所管課	産業経済部 農林水産課

１ 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用件数（件）	920	826	新型コロナウイルス感染症の影響による貸館休止日数が前年度よりも減少したため。
利用者数（人）	12,423	9,799	同上

２ 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	6,758,698	6,558,422	※当年度は３年ごとの特定建築物定期調査実施のため増額。
（うち指定管理料）	6,758,676	6,258,400	※と同じ
（うちその他）	22	300,022	感染症対策委託費の減
支出金額（円）	6,788,104	6,083,241	※と同じ

３ 自己評価

自己評価コメント	運営管理については適切に実施できた。
----------	--------------------

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	利用者満足度調査に関するアンケート実施においてはおおむね良好な結果を得ている。特にコメントでは、「清潔できれいに管理されている」、「事務員が親切」といった意見が多く、良好に運営されている。
利用状況に対する評価	昨年度と比較し、新型コロナウイルス感染症の影響による貸館休止日数が減少したことで、利用件数、利用人数ともに増加した。また、令和3年度から自主事業を追加しており、利用件数増加のための取り組みは評価できる。
自主（指定）事業に対する評価	令和3年度から新たに親子陶芸教室を開催し、施設の活用を図っている点、また志方東地区の最大の農業イベント、コスモス祭の中央案内所等としても活用し、施設のPR効果が期待できる点についても大きく評価できる。
施設維持に対する評価	利用者アンケート結果において、「清潔できれいに管理されている」とのコメントが複数あり、管理者自ら施設を大切に取り扱っている。 節電、節水等の取り組みについては張り紙等による啓発により大部分の利用者に浸透しているように思われる。
収支状況に対する評価	令和3年度以前の指定管理料余剰金会計からの補填がないと収支は赤字となっていたが、経理状況については適正に処理されている。また、精算項目である光熱水費についても余剰金が発生し、市に返金する結果となり評価できる。 経費削減の取り組みについては、特に電気・上水道関係では以前からの取り組み（利用にあたってのお願い等）が利用者に浸透し、協力が得られている。
総合評価	おおむね適切に運営・管理されている。地域密着型の施設であるので、今後も施設の認知度向上や利用者のニーズに沿った事業展開を期待したい。

指定管理業務の評価結果について

（評価対象年度：令和３年度）

施 設 名	加古川市立農村環境改善センター
指定管理者	加古川市立農村環境改善センター運営協議会
指 定 期 間	令和３年４月１日から令和８年３月３１日まで
施設所管課	産業経済部 農林水産課

１ 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数（件）	1,699	1,340	新型コロナウイルス感染症の影響による貸館休止日数が前年度よりも減少したため。
利用者数（人）	24,794	17,488	同上

２ 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	6,916,419	6,671,180	
（うち指定管理料）	6,825,901	6,196,261	※当年度から手数料として館外清掃費が増額したことと、３年ごとの特定建築物定期調査、館内剥離清掃実施のため。
（うちその他）	90,518	474,919	感染症対策委託費の減
支出金額（円）	6,908,842	6,668,699	※と同じ

３ 自己評価

自己評価コメント	指定管理経費内で運営、管理を適切に行っている。
----------	-------------------------

4 施設所管課評価

運営（サービス） に対する評価	地元町内会が主体となった指定管理者であり、地域に密着した運営を実施しており、利用者から特に苦情もなく適正に運営管理を行っている。
利用状況に対する 評価	昨年度と比較し、新型コロナウイルス感染症の影響による貸館休止日数が減少したことで、利用件数、利用人数ともに増加した。また令和2年度に引き続き、感染予防対策の一環で体温測定器を設置するなど、利用者の安心につながる取り組みが評価できる。
自主（指定）事業 に対する評価	新型コロナウイルスの影響で、予定していたイベントが中止になったこともあり、事業数は減となったが、感染症対策の徹底等の工夫をしながら3事業を実施している。コロナ収束後の事業数の回復を期待する。
施設維持に対する 評価	修繕については、部品を購入して直に修繕するなど対応も早く、また経費の削減にも貢献している。
収支状況に対する 評価	会計全体の収支決算は黒字であり、経理状況については、適正に処理されている。また、精算項目である光熱水費についても余剰金が発生し、市に返金する結果となり評価できる。
総合評価	適切に運営・管理されている。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：令和３年度)

施 設 名	加古川市見土呂フルーツパーク
指定管理者	農事組合法人みとろ生産組合
指 定期 間	令和３年４月１日～令和３年１０月１５日まで
施設所管課	産業経済部 農林水産課

１ 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
クリスタルアーチ 入館者数（人）	50,185	95,785	指定期間の短縮のため
バーベキュー 利用件数（件）	265	602	同上

２ 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	22,831,681	43,577,817	
（うち指定管理料）	21,140,401	40,830,733	※指定期間の短縮のため
（うち利用料金）	429,300	1,155,900	バーベキューブース 利用料減少
（うちその他）	1,261,980	1,591,184	
支出金額（円）	19,589,031	40,436,714	※と同じ

３ 自己評価

自己評価コメント	新型コロナウイルス感染症の拡大により、来場者の多い４月から５月にかけて３７日間休園になったことが影響し来場者数が減少したが、鳥獣害対策として園全体にフェンス・防鳥ネットを設置し、細やかな防護で農作物被害の減少に努めた。 また、新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら実施したさつまいも収穫体験は、多くの親子に楽しんでもらえ、農業公園本来の目的を達したと自負している。
----------	--

4 施設所管課評価

運営（サービス） に対する評価	バーベキューブース利用者には、手ぶらでも利用できるよう食材の申込みに対応している。そして、地域ブランドである加古川和牛も選択できる等、地場産業のPRと振興に貢献している。
利用状況に対する 評価	緊急事態宣言により玉ねぎ収穫祭等のイベントが中止となり、来園者を呼び込むのが困難な状況であったが、保育園児をメインにさつま芋堀りを企画するなど、市民と農をつなぐ農業公園としての取り組みが評価できる。
自主（指定）事業 に対する評価	喫茶では果樹園やフルーツパークのフルーツを使用したメニューに加え、PRに尽力している。 収支は赤字だが、新型コロナウイルスの影響が大きいと思われる。
施設維持に対する 評価	修繕に対しては早急に行動し、修繕ができるまでの間の利用者等への安全対策も適宜講じている。 広大な敷地ではあるが、手入れがよく行き届いている。利用者にはゴミの持ち帰りを周知し、ゴミ箱は一切置かない等徹底している。
収支状況に対する 評価	自主事業を含む会計全体の収支決算は黒字である。 また、電気使用量及び水道使用量の節約を実施し、光熱水費については不用額（2,724,599円）が発生し、市へ返金している点は評価できる。
総合評価	おおむね適正に管理運営が実施されていた。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：令和３年度)

施設名	加古川市総合福祉会館
指定管理者	社会福祉法人 加古川市社会福祉協議会
指定期間	令和２年４月１日から令和７年３月３１日まで
施設所管課	福祉部 高齢者・地域福祉課

１ 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用件数（件）	2,515	2,291	緊急事態宣言による休館やワクチン接種会場になるなど新型コロナウイルスの影響が続いた。
利用人数（人）	49,566	30,984	

２ 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	35,751,403	35,278,600	
（うち指定管理料）	33,126,000	32,707,000	
（うち利用料金）	2,451,050	1,769,600	
（うちその他）	174,353	802,000	感染症対策委託費の減
支出金額（円）	35,457,030	35,671,881	

３ 自己評価

自己評価コメント	市民の利用しやすい施設、求められる施設機能など、あらゆる機会を通じ意見を取り入れながら、管理運営を行うように努めている。今後も、市民の意見を反映した事業の拡大に努めていく。
----------	--

4 施設所管課評価

運営（サービス） に対する評価	利用者アンケートの実施や意見箱の設置により、利用者の意見を把握し、会館運営への反映に努めている。
利用状況に対する 評価	引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響は受けているものの、市内公共施設が新型コロナウイルスワクチン接種会場となったことから、利用者が福祉会館に流れてきているため、利用状況は回復傾向にある。
自主（指定）事業 に対する評価	福祉に関する相談への幅広い対応、各種講座の案内や情報の収集・提供を積極的に行い、施設利用者の増加や市民の福祉意識の高揚に努めている。
施設維持に対する 評価	定期的な点検や清掃、警備、管理運転業務等の実施により、適切な維持管理が行われている。また、施設に不都合な点があれば逐一情報提供があるため、迅速に対処することができている。
収支状況に対する 評価	照明や空調の適正な管理により経費削減に取り組んでいる。また、職員の配置が年度途中からとなったことにより、収支が黒字となった。
総合評価	指定管理者の持つ専門性やネットワークを生かし、サービスの向上や利用者の増加に取り組んでいる。新型コロナウイルスの影響は受けているものの、地域福祉の中核施設として、活発な利用が図られており、指定管理業務はおおむね良好である。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：令和３年度)

施 設 名	加古川市立つつじ園
指定管理者	社会福祉法人 博由社
指 定 期 間	平成 30 年 4 月 1 日から令和 5 年 3 月 31 日まで
施設所管課	福祉部 障がい者支援課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数（人）	9,669	10,144	・稼働率 78.9%へ減少 (R2 年度：83.1%)
1 日平均（人）	39.5	41.6	・利用者の死亡退所、長期入院（各 1 名）

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	203,027,498	212,791,605	
（うち指定管理料）	49,300,000	49,300,000	
（うち利用料金）	150,029,037	159,698,409	稼働率 83.1%→78.9%へ減少
（うちその他収入）	3,698,461	3,793,196	
支出金額（円）	191,270,758	196,776,125	人件費（職員数）の減少

3 自己評価

自己評価コメント	・ 昨年度に引き続き、感染症予防対策を徹底することにより営業を継続することができ、利用者家族の要望に応えることができた。 ・ 重度・強度行動障害を有する利用者に対し専門性と権利擁護を意識した支援の提供に努めた。 ・ 利用者登録数を定員 50 名になるよう取り組んだが 47 名と目標数に届かなかった。
----------	--

4 施設所管課評価

運営（サービス） に対する評価	昨年に引き続き、強度行動障害支援者養成研修修了者を配置し、より専門性の高い支援を利用者へ提供することに努めており、施設利用に関する満足度も向上している。
利用状況に対する 評価	契約者の死亡や長期入院など、やむを得ない事情により利用率は低下しているが、一定水準を維持している。 利用率 R3：78.9%、R2：83.1%、R1：85.7%
自主（指定）事業 に対する評価	地域のニーズに応えるべく、今後も事業を継続する体制を確保していく必要がある。
施設維持に対する 評価	指定管理者負担となる修繕については適切に実施しており、利用者が快適に利用できるよう施設を維持、管理している。
収支状況に対する 評価	職員減による給与等の減少や時間外手当の削減等により、単年度で約1,180万円の黒字となった。
総合評価	職員体制を確保しながら、利用者への適切なサービスの提供に努めており、利用満足度も向上している。また、自主事業についても地域のニーズに応えるべく体制を継続していきたい。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：令和３年度)

施設名	加古川夜間急病センター
指定管理者	公益財団法人東播臨海救急医療協会
指定期間	令和３年４月１日から令和３年１０月３１日
施設所管課	健康医療部 地域医療課

１ 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
受診者数（人）	2,708	3,617	当年度は４月から１０月まで
後送者数（人）	174	260	当年度は４月から１０月まで

２ 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	62,233,470	105,755,394	令和３年４月から １０月までの運営委 託料のため。 令和３年１１月から 令和４年３月までの 委託料は、東はりま 夜間休日応急診療セ ンター委託料として 計上している。
（うち指定管理料）	62,233,470	105,755,394	
（うち利用料金）			
（うちその他）			
支出金額（円）	62,233,470	105,755,394	

３ 自己評価

自己評価コメント	加古川夜間急病センターの診療業務において、利用者サービスの質の低下を招くことなく管理運営業務を適正に実施。
----------	---

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	施設の管理運営については、基本協定書、仕様書、年度協定書及び事業計画書に基づき適正に実施している。また、医師不足が問題となる中、安定した診療体制を維持するために医師の確保に努め、利用者からの意見や要望にも誠実に対応している。
利用状況に対する評価	年中無休で診療を実施できている。
自主（指定）事業に対する評価	実施する自主事業なし。
施設維持に対する評価	11 月移転のため、必要な定期点検のみを行い、施設の維持に努めている。
収支状況に対する評価	11 月移転のため、不必要な物品の購入を控え、適切な在庫管理を行っている。また、物品購入の際は見積もり合わせを実施し、経費節減に努めている。
総合評価	夜間帯において救急医療を必要とする者に対し、年中無休で初期診療を実施する安定した体制が確保できている。

指定管理業務の評価結果について

（評価対象年度：令和３年度）

施 設 名	東はりま夜間休日応急診療センター
指定管理者	公益財団法人東播臨海救急医療協会
指 定 期 間	令和３年 11 月 1 日から令和４年 3 月 31 日
施設所管課	健康医療部 地域医療課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
受診者数（人）	4,395	—	
後送者数（人）	196	—	

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	61,214,165	—	令和３年 11 月からの休日を含んだ運営委託料
（うち指定管理料）	61,214,165	—	
（うち利用料金）			
（うちその他）			
支出金額（円）	61,214,165	—	

3 自己評価

自己評価コメント	東はりま夜間休日応急診療センターの診療業務において、利用者サービスの質の低下を招くことなく管理運営業務を適正に実施。
----------	--

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	施設の管理運営については、基本協定書、仕様書、年度協定書及び事業計画書に基づき適正に実施している。また、医師不足が問題となる中、安定した診療体制を維持するために医師の確保に努め、利用者からの意見や要望にも誠実に対応している。
利用状況に対する評価	年中無休で診療を実施できている。
自主（指定）事業に対する評価	実施する自主事業なし。
施設維持に対する評価	令和3年11月移転の新施設であるため、必要な定期点検のみを行い、施設の維持に努めている。
収支状況に対する評価	不必要な物品の購入を控え、適切な在庫管理を行っている。また、物品購入の際は見積もり合わせを実施し、経費節減に努めている。
総合評価	夜間帯及び休日において救急医療を必要とする者に対し、年中無休で初期診療を実施する安定した体制が確保できている。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：令和３年度)

施設名	加古川市立別府公民館
指定管理者	別府公民館管理運営委員会
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日
施設所管課	教育指導部 社会教育課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数（人）	36,425	39,913	（前年度より3,488人減少） →使用するグループや団体の構成人数が減っていること、コロナ控え等で減少傾向が続いている。
利用件数（件）	3,018	3,249	（前年度より231件減少） →各年度層全般に減少した。主にコロナの対策に伴う利用数の減。
平均稼働率（％） （屋外除く）	19.2	23.3	公民館の利用休止や行事中止など、使用控えの影響を受けたため。

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	29,225,466	26,372,278	繰越金による増
（うち指定管理料）	24,781,000	24,560,000	
（繰越金・雑入）	4,444,466	1,812,278	繰越金の増
支出金額（円）	23,854,845	22,124,993	

3 自己評価

自己評価コメント	様々な地域行事の課題に対し、別府地域におけるコミュニティづくりの拠点施設としての役割を積極的に果たしていると考えている。 今後も利用者の声を参考に、地域の意向や要望を今まで以上に取り入れた運営を行うとともに、新たな強化として、地域のコミュニティのリーダーを育成する公民館運営を推進していきたい。
----------	---

4 施設所管課評価

運営（サービス） に対する評価	施設の管理運営業務においては、アンケートや聞き取り等により利用者のニーズに応じた管理運営がおおむね良好に行われていることは高く評価できる。
利用状況に対する 評価	新型コロナの影響もあるが利用者数及び利用件数が減少している。地域住民のニーズを反映した事業展開や、創意工夫により地域交流拠点として、利用者とともに公民館運営をひきつづき推進してほしい。
自主（指定）事業 に対する評価	親子お米作り体験や親子で森の探偵団など、特徴的な事業を企画・実施されている。今後も受講者ニーズに合わせたプログラム等をさらに検討してもらいたい。
施設維持に対する 評価	仕様書に基づき適正に行われているため良好と評価する。 館予算内で老朽化による修繕等は順次実施している。
収支状況に対する 評価	予算の範囲内で適正に執行している。
総合評価	今後についても、地域住民の多様なニーズにこたえ、さらに幅広い利用促進を図ることで、良好かつ効率的な管理運営業務の実施を期待している。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：令和３年度)

施設名	加古川市立尾上公民館
指定管理者	尾上公民館運営管理委員会
指定期間	令和３年４月１日から令和６年３月３１日まで
施設所管課	教育指導部 社会教育課

１ 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数（人）	50,453	37,049	前年度より 13,404 人増 ※使用区分による増加の内訳 青少年 1,779 人、成人 941 人 高齢者 8,677 人、その他 2,007 人
利用件数（件）	3,643	2,696	前年度より 947 件の増 ※使用区分による増加の内訳 青少年 166 件、成人 135 件 高齢者 612 件、その他 34 件
平均稼働率（％） （屋外除く）	21.74	19.23	前年度より 2.51 ポイントの増 2年度 3年度 件数合計 2,696 3,643 可能数合計 14,022 16,758

２ 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	33,095,175	29,915,650	
（うち指定管理料）	24,309,000	22,819,000	
（繰越金・雑入）	8,786,175	7,096,650	
支出金額（円）	24,410,177	21,871,444	

３ 自己評価

自己評価コメント	指定管理を受託して６年が経過し、町内会をはじめとした地域の方々の協力を得る中で、一応の成果が得られたものと考えている。 会計面にあつては、経営面での努力により、十分な対応ができる安定的な運営ができた。 指定管理によるメリットである地域ニーズに対する柔軟的な対応により、多様な自主事業を実施し、地域の生涯学習施設としての役割が果たせたものと考えている。事業面においては、新型コロナウイルスの影響で様々な制限があったため、利用件数や来館者の減少傾向が続いていたが、少しずつ回復に向かっている。
----------	---

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	施設の管理運営事業においては、運営推進委員会やアンケート等により利用者のニーズに応じた管理運営がおおむね良好に行われていることは高く評価できる。
利用状況に対する評価	令和3年度は前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受けたが、令和2年度と比較し、利用者数及び利用件数は増加している。しかし、利用率はコロナ禍以前の水準には達していない。引き続き、地域交流拠点としての公民館運営を推進してほしい。
自主（指定）事業に対する評価	地域住民のニーズに合わせ新たな事業を実施するなど、高く評価できる。特に本市が現在進めている「ICT（情報通信技術）を活用したまちづくり」にも関連する「初心者スマートフォン講座」は利用者の関心も高い。今後も引き続きニーズ把握に努め、社会の要請も精査したうえで、新たなプログラムを検討してもらいたい。
施設維持に対する評価	施設の状態を適宜把握し、必要な修繕を実施しているため、良好と評価する。今後も公民館利用者や地域住民と協働した施設管理を継続してもらいたい。
収支状況に対する評価	予算の範囲内で適正に執行している。また、節電や印刷時に裏紙を使用するなど、経費削減に対する努力は高く評価できる。 令和2年度に実施した指定管理者選定評価委員会の評価にもあるように繰越金の使途・運用については十分に協議を進めたい。
総合評価	今後についても、地域住民の多様なニーズにこたえ、さらに幅広い利用促進を図ることで、良好かつ効率的な管理運営業務の実施を期待している。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：令和３年度)

施設名	加古川市立加古川図書館
指定管理者	株式会社図書館流通センター
指定期間	令和３年１０月１日から令和８年３月３１日まで
施設所管課	教育指導部 中央図書館

１ 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
貸出者数（人）	68,176	44,803	移転により、多くの方にご利用いただくことができた。目標値 60,000 人に対し 113.6%、前年比 152.2%となった。
貸出冊数（冊）	210,979	140,632	目標値 192,000 冊に対し 109.9%、前年比 150.0%となった。
入館者数（人）	242,218	—	目標値 198,900 人に対し 121.8%となった。

２ 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	56,248,305	—	
（うち指定管理料）	56,095,000	—	
（うちカフェサービス収入）	103,740	—	
（うち自動販売機収入）	31,545	—	
（うち複写料金 収入）	18,020	—	
支出金額（円）	56,205,260	—	

３ 自己評価

自己評価コメント	指定管理１年目、移転オープンとなり大勢の利用者に来館していただくことができた。オープン当初は窓口での応対に追われ、実施時期が予定より遅れた事業もあったがおおむね実施することができた。 集客面においては、社会情勢に応じた対応により目標値に達しない事業もあったが、参加者にはおおむね満足いただけたのではないかと考えている。 また、学習・ワークスペース等を中高生世代が頻繁に利用することで、結果的に最も図書館離れのすすむ同世代の貸出人数が大幅に増加した。今後、この利点を生かしたイベントや展示を通してさらに図書館の利用を促したい。 利用者からのご意見が多く、新しい図書館への期待度が高いと考えられることから、アイデアを結集しより良い運営を目指したい。
----------	--

	スタッフ教育についても、可能な限り社内外での研修に参加しスキル向上に努めた。
--	---

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	アンケート結果から、所蔵資料の充実など館内サービスについては普通との回答が多く、利用者ニーズの把握やサービス展開の工夫の余地があると思われるが、接遇や書架配置のわかりやすさ、清潔さなど利用者の満足度は高く、評価できる。 また、カピル21ビルの各テナント等と連携したさまざまな魅力あふれる事業を展開していることについても評価できる。
利用状況に対する評価	加古川駅南の商業施設内への移転による利便性の向上により、入館者数は目標値を上回り、貸出者数、貸出冊数等はいずれも直営時の前年度比を大きく上回っており評価できる。 今後も引き続き立地を生かした加古川図書館ならではのサービスや事業に力を入れ、さらなる利用者数の増加に努めてもらいたい。
自主（指定）事業に対する評価	指定事業、自主事業ともにコロナ禍の影響もあり、参加者数など目標値に届かないものもあったが、おおむね計画どおり実施できている。 また、各事業の内容についても好評を得ており、評価できる。 まだまだ試行錯誤しながらの事業実施ではあるが、そこから見えてきた問題点などが、今後に活かされることを期待したい。
施設維持に対する評価	事業実施計画書に基づき、館内清掃等適正な維持管理がなされている。修繕及び備品購入についても適時適正な執行をしており、計画どおりの施設管理が実施されている。
収支状況に対する評価	収入については、施設の特性もあり指定管理料が9割を占め、主な収入源となっている。 支出については、特に図書購入費において、毎月計画的な発注を行い予算どおりの執行を行っており評価できる。支出項目全体としてもおおむね計画どおりである。
総合評価	事業実施計画書等に基づき、管理運営について、良好に遂行することができている。 加古川駅南の立地条件を生かし、中高生世代や子育て世代、勤労者世代を対象とした事業展開を行い、ターゲット層の利用者数を増加させている点からも高く評価できる。